年　　月　　日

診療用放射性同位元素等備付届

|  |  |
| --- | --- |
| 管理者住所 |  |
|  | (電話) |
| 氏名 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 診療用放射性同位元素使用器具 | を備えるので、医療法第１５条第３項及び医療法施行規則 |
| 診療用放射性同位元素 |
| 陽電子断層撮影診療用放射性同位元素 |
| 第２７条の３第１項又は第２８条第１項の規定により次のとおり届け出ます。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 病院又は診療所 | 名称 |  |
| 所在地 | 広島市　　　　　区 |
| (電話)　　　　　　　　　　(FAX)　　　　　　　　　(E-mail) |
| 診療用放射性同位元素使用器具・診療用放射性同位元素・陽電子断層撮影用診療用放射性同位元素に関する事項 | 放射性同位元素の種類 |  |
| 形状 |  |
| 本年の使用予定数量（Bq） |  |
| 最大貯蔵予定数量（Bq） |  |
| １日最大使用予定数量（Bq） |  |
| ３月間最大使用予定数量（Bq）　４月１日、７月１日、１０月１日及び１月１日を始期としてください。 |  |
| 担当者所属・氏名等 |  |
| (電話) |

次頁に続く。

診療用放射性同位元素使用器具使用室の放射線障害防止に関する構造設備及び予防措置の概要（規則第30条の7の3）

|  |  |
| --- | --- |
| 使用室名 |  |
| 主要構造部等 | □耐火構造　　□不燃材料を用いた構造 |
| 使用器具準備室と診療室の区画 | □ 有　　　　□ 無 |
| 画壁等の材質及び厚さ等 | 天井 |  |
| 床 |  |
| 壁 |  |
| 出入口の扉 |  |
| 画壁等の外側の実効線量を１mSv／週以下とする防護措置 | □ 有　　　　□ 無 |
| 出入口の数 | ・通常出入口　　　箇所・その他　　　　　箇所（用途　　　　　　） |
| 使用室である旨の標識 | □ 有　　　　□ 無 |
| 室内の壁、床等 | 突起物、くぼみ及び仕上材の目地等のすきまの少ない構造 | □ 有　　　　□ 無 |
| 平滑で、気体又は液体が浸透しにくく、かつ、腐食しにくい材料での表面の仕上げ | □ 有　　　　□ 無 |
| 出入口付近 | 汚染検査に必要な放射線測定器 | □ 有（台数：　　　　　台）　　　□ 無 |
| 汚染除去に必要な器材 | □ 有（台数：　　　　　台）　　　□ 無 |
| 汚染除去に必要な洗浄設備 | □ 有　　　　□ 無 |
| 洗浄設備の排水設備との連結 | □ 有　　　　□ 無 |
| 更衣設備 | □ 有　　　　□ 無 |
| 使用器具準備室 | 洗浄設備 | □ 有　　　　□ 無 |
| 洗浄設備の排水設備との連結 | □ 有　　　　□ 無 |
| フード、グローブボックス等の装置の設置 | □ 有　　　　□ 無 |
| フード、グローブボックス等の装置の排気設備のとの連結 | □ 有　　　　□ 無 |
| 使用室以外での使用場所 | □ 陽電子断層撮影診療用放射性同位元素使用室□ エックス線診療室□ 放射線治療病室□ 集中強化治療室等（集中強化治療病室・心疾患強化治療室・手術室） |
| エックス線装置の使用 | □ 有（用途　　　　　　　　　　）　□ 無 |

診療用放射性同位元素使用室の放射線障害防止に関する構造設備及び予防措置の概要（規則第30条の8）

|  |  |
| --- | --- |
| 使用室名 |  |
| 主要構造部等 | □耐火構造　　□不燃材料を用いた構造 |
| 準備室と診療室の区画 | □ 有　　　　□ 無 |
| 画壁等の材質及び厚さ等 | 天井 |  |
| 床 |  |
| 壁 |  |
| 出入口の扉 |  |
| 画壁等の外側の実効線量を１mSv／週以下とする防護措置 | □ 有　　　　□ 無 |
| 出入口の数 | ・通常出入口　　　箇所・その他　　　　　箇所（用途　　　　　　） |
| 使用室である旨の標識 | □ 有　　　　□ 無 |
| 室内の壁、床等 | 突起物、くぼみ及び仕上材の目地等のすきまの少ない構造 | □ 有　　　　□ 無 |
| 平滑で、気体又は液体が浸透しにくく、かつ、腐食しにくい材料での表面の仕上げ | □ 有　　　　□ 無 |
| 出入口付近 | 汚染検査に必要な放射線測定器 | □ 有（台数：　　　　　台）　　　□ 無 |
| 汚染除去に必要な器材 | □ 有（台数：　　　　　台）　　　□ 無 |
| 汚染除去に必要な洗浄設備 | □ 有　　　　□ 無 |
| 洗浄設備の排水設備との連結 | □ 有　　　　□ 無 |
| 更衣設備 | □ 有　　　　□ 無 |
| 準備室 | 洗浄設備 | □ 有　　　　□ 無 |
| 洗浄設備の排水設備との連結 | □ 有　　　　□ 無 |
| フード、グローブボックス等の装置の設置 | □ 有　　　　□ 無 |
| フード、グローブボックス等の装置の排気設備のとの連結 | □ 有　　　　□ 無 |
| 使用室以外での使用場所 | □ 陽電子断層撮影診療用放射性同位元素使用室□ エックス線診療室□ 放射線治療病室□ 集中強化治療室等（集中強化治療病室・心疾患強化治療室・手術室） |
| エックス線装置の使用 | □ 有（用途　　　　　　　　　　）　□ 無 |

陽電子断層撮影診療用放射性同位元素使用室の放射線障害防止に関する構造設備及び予防措置の概要（規則第30条の8の2）

|  |  |
| --- | --- |
| 使用室名 |  |
| 主要構造部等 | □ 耐火構造　　□ 不燃材料を用いた構造 |
| 陽電子準備、陽電子診療室、陽電子待機室の区画 | □ 有　　　　□ 無 |
| 画壁等の材質及び厚さ等 | 天井 |  |
| 床 |  |
| 壁 |  |
| 出入口の扉 |  |
| 画壁等の外側の実効線量を１mSv／週以下とする防護措置 | □ 有　　　　□ 無 |
| 出入口の数 | ・通常出入口　　　箇所・その他　　　　　箇所（用途　　　　　　） |
| 使用室である旨の標識 | □ 有　　　　□ 無 |
| 使用室と画壁等で区画された陽電子放射断層撮影装置操作場所 | □ 有　　　　□ 無 |
| 室内の壁、床等 | 突起物、くぼみ及び仕上材の目地等のすきまの少ない構造 | □ 有　　　　□ 無 |
| 平滑で、気体又は液体が浸透しにくく、かつ、腐食しにくい材料での表面の仕上げ | □ 有　　　　□ 無 |
| 出入口付近 | 汚染検査に必要な放射線測定器 | □ 有（台数：　　　　　台）　　　□ 無 |
| 汚染除去に必要な器材 | □ 有（　　　　　　　　　）　　　□ 無 |
| 汚染除去に必要な洗浄設備 | □ 有　　　　□ 無 |
| 洗浄設備の排水設備との連結 | □ 有　　　　□ 無 |
| 更衣設備 | □ 有　　　　□ 無 |
| 陽電子準備室 | 洗浄設備 | □ 有　　　　□ 無 |
| 洗浄設備の排水設備との連結 | □ 有　　　　□ 無 |
| フード、グローブボックス等の装置の設置 | □ 有　　　　□ 無 |
| フード、グローブボックス等の装置の排気設備のとの連結 | □ 有　　　　□ 無 |
| 陽電子―ＣＴ複合装置の使用 | □ 有　　　　□ 無 |
| 陽電子―ＭＲＩ複合装置の使用 | □ 有　　　　□ 無 |
| 診療用放射線照射装置の使用 | □ 有　　　　□ 無 |
| 診療用放射線照射器具の使用 | □ 有　　　　□ 無 |
| 診療用放射性同位元素使用器具の使用 | □ 有　　　　□ 無 |
| 診療用放射性同位元素の使用 | □ 有　　　　□ 無 |

貯蔵施設の放射線障害防止に関する構造設備及び予防措置の概要（規則第30条の9）

|  |  |
| --- | --- |
| 貯蔵方法 | □ 貯蔵室　　　　　□ 貯蔵箱 |
| 外部と区画された構造 | □ 有　　　　□ 無 |
| 外側の実効線量を１mSv／週以下とする防護措置 | □ 有　　　　□ 無 |
| 貯蔵施設である旨の標識 | □ 有　　　　□ 無 |
| 貯蔵室 | 画壁等の材質及び厚さ等 | 天井 |  |
| 床 |  |
| 壁 |  |
| 出入口の扉 |  |
| 主要構造部等の耐火構造 | □ 有　　　　□ 無 |
| 特定防火設備に該当する防火戸 | □ 有　　　　□ 無 |
| かぎ等の閉鎖設備又は器具 | □ 有　　　　□ 無 |
| 貯蔵箱 | 耐火構造 | □ 有　　　　□ 無 |
| かぎ等の閉鎖設備又は器具 | □ 有　　　　□ 無 |
| 貯蔵容器 | 貯蔵時の１ｍの距離における実効線量率を100μSv／時以下とする防護措置 | □ 有　　　　□ 無 |
| 気密構造 | □ 有　　　　□ 無 |
| 液体がこぼれにくい構造、かつ、液体が浸透しにくい材料の使用 | □ 有　　　　□ 無 |
| 貯蔵容器である旨の標識 | □ 有　　　　□ 無 |
| 放射性同位元素の種類及び数量の表示 | □ 有　　　　□ 無 |
| 受皿、吸収材等の汚染拡大防止設備又は器具 | □ 有　　　　□ 無 |

運搬容器の放射線障害防止に関する構造設備及び予防措置の概要（規則第30条の10）

|  |  |
| --- | --- |
| 運搬時の１ｍの距離における実行線量率を100μSv／時以下とする防護措置 | □ 有　　　　□ 無 |
| 気密構造 | □ 有　　　　□ 無 |
| 液体がこぼれにくい構造、かつ、液体が浸透しくにい材料の使用 | □ 有　　　　□ 無 |
| 運搬容器である旨の標識 | □ 有　　　　□ 無 |
| 放射性同位元素の種類及び数量の表示 | □ 有　　　　□ 無 |

廃棄施設の放射線場外防止に関する構造設備及び予防措置の概要（規則第30条の11）

|  |  |
| --- | --- |
| 画壁等の外側の実効線量を１ｍSv／週以下とする防護措置 | □ 有　　　　□ 無 |
| 排水設備 | 排水監視設備 | □ 有　　　　□ 無 |
| 排液の漏れにくい構造 | □ 有　　　　□ 無 |
| 排液が浸透しにくく、かつ、腐食しにくい材料の使用 | □ 有　　　　□ 無 |
| 排液処理槽 | 排液を採取することができる構造 | □ 有　　　　□ 無 |
| 排液中の放射性同位元素の濃度が測定できる構造 | □ 有　　　　□ 無 |
| 排液流量調節装置 | □ 有　　　　□ 無 |
| 上部開口部 | □ ふたのできる構造　　□ さく等の設備 |
| 排水設備である旨を示す標識 | 排水管 | □ 有　　　　□ 無 |
| 排水処理槽 | □ 有　　　　□ 無 |
| 排気設備 | 排気監視設備 | □ 有　　　　□ 無 |
| 人が常時立ち入る場所における空気中の放射性同位元素の濃度が濃度限度以下となる能力 | □ 有　　　　□ 無 |
| 気体の漏れにくい構造 | □ 有　　　　□ 無 |
| 腐食しにくい材料の使用 | □ 有　　　　□ 無 |
| 故障時、汚染空気の広がりを急速に防止する装置 | □ 有　　　　□ 無 |
| 排気設備である旨を示す標識 | 排気浄化装置 | □ 有　　　　□ 無 |
| 排気管 | □ 有　　　　□ 無 |
| 排気口 | □ 有　　　　□ 無 |
| 保管廃棄設備 | 外部との区画 | □ 有　　　　□ 無 |
| 扉、ふた等の閉鎖設備又は器具 | □ 有　　　　□ 無 |
| 保管廃棄容器 | 気密構造 | □ 有　　　　□ 無 |
| 液体がこぼれにくい構造、かつ、液体が浸透しにくい材料の使用 | □ 有　　　　□ 無 |
| 耐火性 | □ 有　　　　□ 無 |
| 保管廃棄容器である旨を示す標識 | □ 有　　　　□ 無 |
| 保管廃棄設備である旨を示す標識 | □ 有　　　　□ 無 |

放射線治療病室の放射線障害防止に関する構造設備及び予防措置の概要（規則第30条の12）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 画壁等の材質及び厚さ等 | 天井 |  |
| 床 |  |
| 壁 |  |
| 出入口の扉 |  |
| 画壁等の外側の実効線量を１ｍSv／週以下とする防護措置 | □ 有　　　　□ 無 |
| 放射線治療病室である旨の標識 | □ 有　　　　□ 無 |
|  | 室内の壁、床等 | 突起物、くぼみ及び仕上材の目地等のすきまの少ない構造 | □ 有　　　　□ 無 |
| 平滑で、気体又は液体が浸透しにくく、かつ、腐食しにくい材料での表面の仕上げ | □ 有　　　　□ 無 |
|  | 出入口付近 | 汚染検査に必要な放射線測定器 | □ 有（台数：　　　　　台）　　　□ 無 |
| 汚染除去に必要な器材 | □ 有（　　　　　　　　　）　　　□ 無 |
| 汚染除去に必要な洗浄設備 | □ 有　　　　□ 無 |
| 洗浄設備の排水設備との連結 | □ 有　　　　□ 無 |
| 更衣設備 | □ 有　　　　□ 無 |

その他の放射線障害防止に関する構造設備及び予防措置の概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 放射線障害の防止に必要な注意事項の表示 | 患者用 | □ 有　　　　□ 無 |
| 従事者用 | □ 有　　　　□ 無 |
| 管理区域境界 | 境界における実効線量を1.3ｍSv／３月以下とする防護措置 | □ 有　　　　□ 無 |
| 管理区域である旨を示す標識 | □ 有　　　　□ 無 |
| 管理区域への立入制限措置 | □ 有　　　　□ 無 |
| 集中強化治療病室等で診療用放射性同位元素を使用する場合の防護措置及び汚染防止措置 | 汚染検査に必要な放射線測定器 | □ 有（台数：　　　　　台）　　　□ 無 |
| 汚染除去に必要な器材 | □ 有（　　　　　　　　　）　　　□ 無 |
| 平滑で、気体又は液体が浸透しにくく、かつ、腐食しにくい材料での表面の仕上げ | □ 有　　　　□ 無 |
| 他の患者が被ばくする放射線の線量を100μSv／週以下とする措置 | □ 有　　　　□ 無 |
| 放射線管理体制を示す組織図 | □ 有　　　　□ 無 |
| 放射線管理責任者の選任 | □ 有　　　　□ 無 |
| 居住区域及び敷地境界の実効線量が250μSv／３月以下とする防護措置 | □ 有　　　　□ 無 |
| 入院患者の被ばく曝する実効線量を1.3mSv／３月以下とする防護措置 | □ 有　　　　□ 無 |
| 診療用放射性同位元素で治療を受けている患者の表示 | □ 有　　　　□ 無 |
| 放射線診療業務従事者等の被ばく防止措置 | □ しゃへい物□ 鉗子□ その他（　　　　　　　　　　　　　） |
| 放射線診療従事者等の被ばく線量の測定方法 | □ ＯＳＬ線量計□ 蛍光ガラス線量計□ ＴＬＤ線量計□ 電子式ポケット線量計□ その他（　　　　　　　　　　　　　） |

陽電子断層撮影診療用放射性同位元素に関する予防措置の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 放射線安全管理委員会 | □ 有　　　　□ 無 |
| 専ら陽電子断層撮影診療に関する安全管理に従事する診療放射線技師の氏名 |  |

診療用放射性同位元素（陽電子断層撮影用診療用放射性同位元素）を使用する医師又は歯科医師

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 (陽電子断層撮影診療安全管理責任者は◎) | 職種 | 登録年月日及び籍登録番号 | 放射線診療に関する経歴経歴 |
|  |  |  |  |

※該当欄のみ記入し、非該当欄は斜線で消去してください。

※軽微な誤記、明らかな誤字脱字、記載漏れ等は、市が訂正・追記します。（承諾されない方はお申し出ください。）

※放射性同位元素及び陽電子断層撮影用放射性同位元素それぞれについて作成し、正副２部を提出してください。

（添付書類）

１　建物配置図（敷地の境界線と遮へい計算点を示したもの）

２　隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した使用室、貯蔵施設、廃棄施設及び治療病室の平面図及び断面図（各室ごとに線源の位置、遮へい計算点を記入してください。）

３　管理区域、管理区域の標識、注意事項、出入口等の位置を図中に赤で記入した書類

４　排水・排気設備の位置及び排水・排気の系統図の平面図及び断面図

５　画壁の遮へい、排水及び排気能力計算書（計算責任者の所属、職、氏名を記入してください。）

(1) 使用室

画壁外側の放射線量率の計算（床、天井面を含む）及び室内の空気中濃度の計算

(2) 貯蔵施設

貯蔵室又は貯蔵箱外側の放射線量率の計算（貯蔵室の場合、床、天井を含む）及び貯蔵容器の外側の放射線量率の計算

(3) 廃棄施設

排水口における水中濃度の計算、排気口における空気中濃度の計算及び保管廃棄施設画壁の外側の放射線量率

(4) 管理区域の境界での放射線量率の計算

(5) 人の居住区域及び敷地の境界での放射線量率の計算

６　集中強化治療病衣室等で診療用放射性同位元素を使用する場合には、放射線管理体制を示す組織図と放射線管理責任者の所属、職種及び氏名を記載した書面

７　陽電子断層撮影用放射性同位元素を備えるにあっては、次に掲げる書類

(1) 陽電子断層撮影診療安全管理責任者について、次に掲げる事項を証する書類

ア　当該医療機関の常勤職員である旨

イ　核医学診断の経験が３年以上有している旨

ウ　陽電子断層撮影診療全般に関する所定の研修を修了した旨

(2)放射線安全管理委員会規定

(3)専ら陽電子断層撮影診療に関する安全管理に従事する診療放射線技師について、陽電子断層撮影診療に関する所定の研修を修了した旨を示す書類

(4)サイクロトロン装置により、陽電子断層撮影診療用放射性同位元素を製造している医療機関については、放射性同位元素等による放射線障害防止に関する法律の規定に基づく申請書及び許可証の写し